



© 2014 ZOOM CORPORATION
本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

このたびは、ZOOM **iQ7** ステレオマイク (以下**iQ7**と呼びます) をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

iQ7は、次のような特長を備えた製品です。

● iPhone/iPod/iPadに接続する高品質マイク

iPhoneシリーズ (5以降)、iPod touch (第5世代)、iPad (第4世代)、iPad Airシリーズ、iPad miniシリーズに接続し、マイク入力対応アプリケーションで高品質な録音を可能にするステレオマイクです。※本書では、上記の機器を総称して「接続機器」と表記します。

● M-Sマイク方式の採用によるステレオ幅コントロール

正面方向をカバーする単一指向性マイク (Midマイク) と側面をカバーする双指向性マイク (Sideマイク) により構成されるM-Sステレオ方式のマイクを採用。Sideマイクの音量を可変させることで、ステレオ幅の自由な調節が可能です。

● オーディオ用／ビデオ用の2モード

接続機器をマイクのように対象に向けて録音できる「オーディオポジション」とビデオ撮影に適した「ビデオポジション」の2通りの使い方が可能です。

● 高機能専用アプリケーションとの連携

iQ7と連携することで、録音フォーマットの選択、音声ファイルの編集、各種エフェクトなどが使用できる専用アプリケーション**Handy Recorder**を無料でApp Storeからダウンロードできます。

● 遅延のない音声モニターが可能 (**Handy Recorder**使用時のみ)

iQ7に入力された音声を、接続機器を経由せずにステレオミニジャックから直接出力する「ダイレクトモニター」機能が使用できます。これにより遅延のないモニタリングが可能です。

● **iQ7**本体スイッチで録音の調節が可能

iQ7本体のダイヤルとスイッチで録音ゲイン、ステレオ幅などの調節が可能です。

● ケースを装着したまま使用可能

付属のケースアジャスターを外すと、接続機器にケースを装着した状態で使用可能です。

| 仕 様 | | |
|--------|---|-----------------------------|
| マイクフォン | 方式 | M-Sステレオマイク (90° /120° /M-S) |
| | 最大入力音圧 | 120dBspl |
| 入力ゲイン | + 3 ~+ 43dB | |
| 音質 | 44.1kHz/16bit, 48kHz/16bit | |
| 電源 | 接続機器より給電 | |
| 端子 | Lightning コネクタ ステレオミニジャック (ライン出力/ヘッドフォン出力兼用) | |
| 寸法 | 54.5 (W) × 57.2 (D) × 26.5 (H) mm | |
| 重量 | 31.8g | |
| 対応機種 | iPhone 5 / iPhone 5s / iPhone 5c / iPhone 6 / iPhone 6 Plus / iPod touch (第5世代) / iPad (第4世代) / iPad Air / iPad Air 2 / iPad mini / iPad mini 2 / iPad mini 3 | |
| 対応OS | iOS 6.0以降 | |

| 安全上の注意／使用上の注意 | |
|---|----------------------------------|
| 安全上の注意 | |
| このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。 | |
| | 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。 |
| | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |
| 図記号の例 | |
| | 「実行しなければならない (強制) 内容」です。 |
| | 「してはいけない (禁止) 内容」です。 |
| 警告 | |
| 改造について | |
| | ケースの開封や改造を加えない。 |
| 注意 | |

製品の取り扱いについて

- 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- 振動の多いところでは使わない。
- 砂やほこりの多いところでは使わない。

接続コネクタについて

- 移動するときは、必ずすべてのコネクタの接続を外してから移動する。

| 使用上の注意 | |
|---|--|
| 他の電気機器への影響について | |
| iQ7 は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、 iQ7 と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。 | |
| デジタル制御の電子機器では、 iQ7 も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。 | |
| | この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 |
| VCCI-B | |

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンジャー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに**iQ7**を取り外し、接続ケーブル類も外してください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

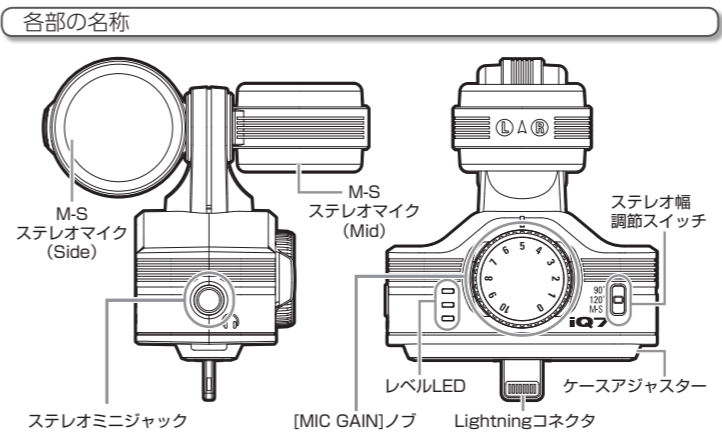
© iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aliphone K.K.

©文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社へ帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

©他の者が著作権を保有するCD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

"Made for iPod", "Made for iPhone", and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.



M-Sステレオマイク：M-S (Mid/Side) 方式のステレオマイクです。

回転して角度を変えることが可能です。(→「マイクの角度調節」)
ステレオミニジャック：ヘッドフォンを接続して録音や再生をモニターできます。ライン出力端子としても使用できます。

ステレオ幅調節スイッチ：ステレオマイクの左右の広がりを設定します。(→「ステレオ幅の調節」)
[MIC GAIN] ノブ：録音レベルを手動で調節します。(→「録音レベルの調節」)
レベルLED：接続機器と正常に接続されると、赤のLEDが暗く点灯します。また、入力した

音の大きさに応じて各LEDが点灯します。



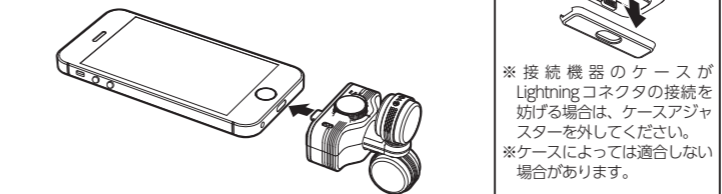
Lightning コネクタ：接続機器のLightning コネクタに接続します。
ケースアジャスター：接続機器のケースがLightning コネクタの接続を妨げる場合は外します。

接続方法

1. **iQ7**と接続機器のLightning コネクタを接続する。

接続機器から**iQ7**に電力が供給され、赤のLEDが暗く点灯します。

Handy Recorderなど、**iQ7**を使用するアプリケーションを起動すると、**iQ7**が使用できる状態になります。



※接続機器のケースがLightning コネクタの接続を妨げる場合は、ケースアジャスターを外してください。
※ケースによっては適合しない場合があります。

| NOTE |
|---|
| ・Lightning コネクタには表裏の区別がありません。ただし、上の図と逆向きに接続した場合はステレオの左右が逆になるので、注意してください。 ※ステレオの左右は Handy Recorder で逆に設定することもできます。選択された設定は iQ7 本体に記憶されます。 |

| HINT |
|--------------------------------|
| 認証エラーなどの異常がある場合、赤のLEDが暗く点滅します。 |

2. **iQ7**のステレオミニジャックに、ヘッドフォンなどを接続する。

ヘッドフォンなどを接続する場合、音量の調節は**Handy Recorder**で行います。

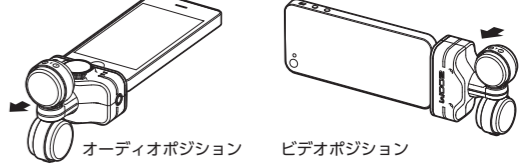
Handy Recorderで調節した音量は**iQ7**に保存され、他のアプリケーションで**iQ7**を使用する場合にも適用されます。

使用方法

マイクの角度調節

1. M-Sステレオマイクを回転して、角度を調節する。

Midマイク上部の矢印の向きが録音対象に向くように回転します。
オーディオポジション：接続機器を音源に向けて録音する時に使用します。
ビデオポジション：接続機器に内蔵のカメラを使ってビデオ撮影する時に使用します。



| NOTE |
|---|
| ・ iQ7 のスイッチやマイク角度を操作する場合には、接続が外れないように手で押さえながら扱ってください。無理な力が加わると、接続が外れたり、コネクタ部分が破損する場合があります。 |

ステレオ幅の調節

1. ステレオ幅調節スイッチを切り替える。

90°：音の広がりが90度になる設定で録音します。
120°：音の広がりが120度になる設定で録音します。
M-S：**iQ7**本体ではステレオ幅を設定せず、録音後に**Handy Recorder**で調節します。**Handy Recorder**以外のアプリケーションで使用する場合は、120°の設定と同じになります。

録音レベルの調節

1. [MIC GAIN] ノブを回して録音レベルを調節する。

レベルLEDを確認して、中央のLEDが点灯する程度の録音レベルに調節します。

| HINT |
|---|
| ・入力された音量が大きすぎて歪む(−0.25dB以上) 場合には、 iQ7 の赤いLEDが点灯します。[MIC GAIN] ノブを回して録音レベルを下げてください。 ・録音・再生操作については、使用するアプリケーションのマニュアルを参照してください。 |

| NOTE |
|--|
| ・ iQ7 を接続している間、接続機器のスピーカーからは音が出されません。スピーカーで音声を聴く場合は、録音終了後に iQ7 を接続機器から取り外してください。 ・ iQ7 と接続機器は確実に接続してください。接続が不完全だと、誤動作や故障の原因となります。 ・ iQ7 の使用後は、接続機器から取り外して保管してください。接続したまま使用していると、コネクタ部に無理な力が加わり破損する場合があります。 |

iQ7で録音中に接続機器の無線通信が行われると、録音データにノイズが入ることがあります。また、iPhoneの電話機能を使うと録音が停止します。**iQ7**を使用する際には、接続機器を機内モードに切り替えて使用してください。

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3

http://www.zoom.co.jp